

第3学年 生活単元学習指導案

3年4組 計4人（男子2人 女子2人）

指導者 上久保 純子

1 単元名 もうすぐ卒業

2 単元目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
卒業式までの日程や高等部入試の概要について知ったり, 卒業までの学習の計画を立てたりすることができる。	自分の進路について, 自分なりの考えをもつことができる。	中学部3年間を振り返るとともに, 卒業式に向けての練習や卒業文集作りを通して, 卒業に向けての意識を高めることができる。

〈H31本校教育課程〉

3 単元について

(1) 単元の位置付けとねらい

本学級の生徒は, 小学部から学校生活を共にしてきた3人と, 地域の小学校の通常の学級を卒業した1人の計4人で構成されている。それぞれが個性的でトラブルもよくあるが, 「優しい言葉を使いましょう」を目標に, お互いのよさを発見していく過程を経て学級としてのまとまりができたところでもある。学習面での課題はそれぞれあるが, 生活面でも様々な経験が不足していたり, 場や状況に応じた態度がとれなかったり, 全体の中で自分の役割を意識したり友達と協力して活動したりすることが少なく独りよがりになったりした。これらは, 活動への見通しがもてないことへの不安や依存することへの慣れ, 友達と協力して活動することの経験不足などが原因と考えられる。

卒業や高等部への進学については, 先日の体験学習で経験した異なる環境での活動は新鮮で, その話題になると生徒たちは生き生きとした表情を見せ, 進学を楽しみにしていることがその言動から分かる。また, 将来「はたらく」ことを意識して, 掃除や荷物の整理, 食事や身だしなみ等身近自立の面でもできることを増やそうとする態度が見られるようになった。

以上の実態から, 興味関心の高い本単元を通して, 一人一人が力を発揮し, 友達と協力して活動に取り組めるような活動の設定をする。指導にあたっては, 授業の流れや目標を明確に示すことで, 見通しをもって活動できるようにする。また, 小グループでの活動を取り入れ生徒同士が協力する場を確保したり, 話し合い活動で生徒の思いや行動の意味を教師が補足したりすることで生徒同士の関わりを広げたい。その際, 自分のいいところや友達のいいところに気付かせるような言葉掛けを大切にしながら, 生徒の個の学びや集団での学び合いを支援することで, 最後まで主体的に活動できるようにしたい。

このような学習を通して, 生徒たちは達成感を味わい, 自分に自信をもって活動できるようになると考える(「自己存在感」)。そして協力して活動するなかで友達のよさを確認し(「共感的な人間関係」の育成), 実践的な活動の中で, 「自分で選択」し, 「自分で気付き」, 「自分で考えて行動する」経験を積んだことで(「自己決定の場」), 不安や依存傾向に陥ることなく, 主体的に取り組む意欲や態度が見られるようになるのではないかと考える。

(2) 単元における学びの視点

主体的な学び	提示された学習内容から自分たちで学習計画表を作成することで「期待」や「見通し」をもって活動できる。
対話的な学び	言葉でのやりとり以外にそれぞれが得意な方法で表現するなかで, 言いたいことがしっかり伝わるよう生徒同士が「支え合い」をすることができる。
深い学び	自分の生き方や自分の生活との関わりの中で, 将来について考え, 学習の成果を意味付けることができる。

4 指導計画

※ 単元シートの「指導計画」を参照してください。

5 本時（11 / 20 三次3 / ）

単元・題材	もうすぐ卒業	時数	4 / 25	チーフ	上久保	期日	令和2年2月14日(金)2校時	場所	3年4組教室
目標	本時の重点目標 <input type="checkbox"/> 知識及び技能 <input type="checkbox"/> 思考力, 判断力, 表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度								
	○ 自分達によさや課題についてまとめたプロットを基に, タブレット端末のアプリを活用し, 友達と協力して「卒業生の紹介3-4編」を完成することができる。 ○ 出来上がりを確認し成果を実感することで, 自信をもって活動するとともに, 卒業後の期待感を高めることができる。								
学習の流れ	主な学習内容	本時における学びの視点			指導上の留意点				
	1 始めの挨拶をする。 2 本時の学習を話し合う。 (1) 「もうすぐ卒業」のめあてを確認し, 前時の学習を振り返る。 ※活動のめあて: 「協力」「自信」 (2) 本時の学習内容を確認する。 「卒業生の紹介3-4編」を完成させよう。 3 作成のグループ分けをする。 4 協力して, 「卒業生の紹介3-4編」を作成する。 5 本時のまとめをする。 (1) 活動のめあてを振り返る。 (2) 完成作品の鑑賞をする。 (3) 次時の学習内容を確認する。 6 終わりの挨拶をする。	【対】 学習内容を理解し, タブレット端末を操作しながら課題を解決する。 [教材との対話] 【対】 得意な方法で友達と対話し, 確認・評価しながら, お互い認め合ったり, 達成感を味わったりして, 自分に自信をもつことができる。[友達との対話]			○ 姿勢を正し, 号令を掛ける日直の方に注目できるよう支援することで, 学習の始まりを意識付ける。 ○ 前時の活動(プロット作成)の様子を写真で見せることで, 自分や友達の頑張りを想起できるようにする。 ○ ジェスチャーや歌等で補いながら本時の学習内容と活動のめあてを確認し, 学習の流れや活動に見通しをもつことができるようにする。 ○ 机を移動させることで, グループ活動への意識付けができるようにする。 ○ 困ったときは, 助けを求めるなど, どうしたらよいかを考えて行動できるような言葉掛けをする。 ○ 自分や友達のできたことに気付かせるような言葉掛けをして, お互いが気持ちを発信できるようにする。 ○ 姿勢を正し, 号令を掛ける日直の方に注目できるよう支援することで, 学習の終わりを意識付ける。				
場の設定	1 ~ 3 黒板 5 ~ 6 A D C B	⇒	4 黒板 A D C B						

